## 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置	ᆙᅄᆛᅮᄼ	1 🗆	1父:	長名			所在地							
東京ホテル・トラベル	レ・鉄道専	平成2	8年11月	18日	藤川	宏明		101-0065 東京都千代田区西神	<del></del>							
門学校								03-3262-6021								
設置者名			認可年月			表者名 		101-0065	所在地							
学校法人大原	学園	昭和	54年4月	1日	中本	毎彦		東京都千代田区西神 03-3292-6266	申田1丁目1番3号							
分野		認定課程名			認定学科		専門	士認定年度	高度専門士認定	2年度		<b>厚門課程認定年度</b>				
商業実務	商業	実務専門課	程		ホテル観光 道 ・交通 コ		平成	30(2018)年度	_		令和	2(2020)年度				
学科の目的		ム業界(ホテ, カとして活躍 <sup>っ</sup>				で求められる	5専門知識、	技術修得の教育を施し	、かつ、会計知識やハ	知識やパソコンスキルといったビジネスス						
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	【取得可能マナー・プ		定3級/国	国内旅行業系	<b>務取扱管理</b> 者	者/総合旅行	r業務取扱管	理者/サービス介助コ	上/旅程管理主任者							
修業年限	昼夜	全課程の修		な総授業時 立数	特数又は総	講	義	演習	実習	身	<b></b>	実技				
2 年	昼間	※単位時間、単 かに記入	単位いずれ	1,700	単位時間単位	820	単位時間単位	1,550 単位時間 単位	0 単位時間	C	D 単位時間 単位	0 単位時間				
生徒総定員	生徒爭	€員(A)	留学生	数(生徒実員の		留学生割		中退率		I						
200 人	45	Д		0	人	0	1 %	12 %								
	■卒業者		- :		12		人									
	■就職希 ■就職者	望者数(D) 数(F)	<u>:</u>		12 12		<del></del>									
	■地元就	職者数(F)			11		Ĵ									
	■就職率			710年	100		%									
	■ 弘職者	に占める地方	u纵臧若0 	ノ刮 (F/E 	92		%									
	■卒業者(	こ占める就職	者の割合	(E/C)												
±±100 //	■進学者	数			100		<u>%</u> 人									
就職等の状況	■その他															
	(令和			に関する令	和 <b>7</b> 年5月1	. 日時点の情報	段)									
		職先、業界等	等													
	(令和6年度			AH (H) = -	French (Hr) d	5 会 示 <b>分</b> (#)	<b>克工電鉄</b> 機	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	っニ こヽヰ ぱ:	7(世) 古江	∈台 仁 バラ(#\	Иh				
	市海北安						<b>兄工更数</b> 株	、伊豆急行㈱、東武	スナーションサービ	人(林)、	も記行ハ人(株)	ᄪ				
	東海旅客	鉄道㈱、京	浜急行電	. 鉄(株)、泉乃	た 电 ม人(14)、オ	CIES HE BACING										
	■民間の	評価機関等	から第三	者評価:	た 毛 弘人((が)、オ	CAS HE BANITAL		無								
第三者による	■民間の		から第三	者評価:	《电弧/(14/、2											
第三者による 学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等	から第三	者評価:	《 电 或人作》、 才	受審年月:		評	価結果を掲載した ームページURI							
学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等、例えば以下に	から第三	者評価:	《 电 业人们小、才			評	価結果を掲載した ームページURL							
学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合	評価機関等 、例えば以下( 評価団体:	から第三について任	者評価: 意記載		受審年月:		評								
学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合	評価機関等、例えば以下に	から第三について任	者評価: 意記載		受審年月:		評								
学校評価  当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 、例えば以下( 評価団体:	から第三 について任 c.jp/sen	者評価: 意記載		受審年月:		評								
学校評価  当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 、例えば以下の 評価団体: ww.o-hara.a	から第三 について任 c.jp/sen	者評価: 意記載		受審年月:		評		1, 700	0 単位時間					
学校評価  当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等、例えば以下( 評価団体: www.o-hara.a 時間による3 総授業時数	から第三 について任 ac.jp/seni 算定)	·者評価: 意記載 mon/schoo	ol/tokyo_hoʻ	受審年月:		評			<ul><li>0 単位時間</li><li>0 単位時間</li></ul>					
学校評価  当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等、例えば以下I 評価団体: ww.o-hara.a 立時間による3 総授業時数	から第三 について任 はcjp/seni 算定)	者評価: 意記載 mon/schoo	ol/tokyo_hoʻ	受審年月: tel/ ・実技の授業		評		(						
学校評価  当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等、例えば以下I 評価団体: ww.o-hara.a z時間による3 総授業時数	から第三 について任 はcjp/seni 算定)	者評価: 意記載 mon/schoo	ol/tokyo_ho <sup>·</sup> c実験・実習	受審年月: tel/ ・実技の授業		評		135	0 単位時間					
学校評価  当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等、例えば以下I 評価団体: ww.o-hara.a z時間による3 総授業時数	から第三 について任 はc.jp/seni 算定) うち企業等	者評価: 意記載 mon/schoo をと連携した をと連携した をと連携した	ol/tokyo_ho - 実験・実習 - 演習の授業	受審年月: ttel/ ・実技の授業 時数	<b>美時数</b>	評水		135 135	0 単位時間 5 単位時間					
学校評価  当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等、例えば以下I 評価団体: ww.o-hara.a z時間による3 総授業時数	から第三 について任 はc.jp/seni 算定) うち企業等	者評価: 意記載 mon/schood をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した うち企業等数	ol/tokyo_ho 一実験・実習 演習の授業	受審年月: ttel/ ・実技の授業 時数 必修の実験・	実習・実技に	評水		135 135 (	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間					
学校評価  当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 、例えば以下 評価団体: www.o-hara.a 立時間による 総授業時数	から第三 にjp/seni 算定) うち企業等 うち企業等 うち必修抒	者評価: 意記載 mon/schood をと連携した をと連携した を実時数 うち企業等 うち企業等	ol/tokyo_ho 一実験・実習 演習の授業 手と連携した	受審年月: ttel/ ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	実習・実技(授業時数	評水		135 135 ( 135	0 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 5 単位時間					
学校評価 当該学科の ホームページ URL  企業等と連携した	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 、例えば以下 評価団体: www.o-hara.a 立時間による 総授業時数	から第三 にjp/seni 算定) うち企業等 うち企業等 うち必修抒	者評価: 意記載 mon/schood をと連携した をと連携した を実時数 うち企業等 うち企業等	ol/tokyo_ho 一実験・実習 演習の授業 手と連携した	受審年月: ttel/ ・実技の授業 時数 必修の実験・	実習・実技(授業時数	評水		135 135 ( 135	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間					
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 、例えば以下 評価団体: www.o-hara.a z時間による』 総授業時数	から第三 について任 ic.jp/seni 算定) うち企業 <sup>等</sup> うち企業 <sup>等</sup> うち必修持	者評価: 意記載 mon/schood をと連携した をと連携した を実時数 うち企業等 うち企業等	ol/tokyo_ho 一実験・実習 演習の授業 手と連携した	受審年月: ttel/ ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	実習・実技(授業時数	評水		135 135 ( 135	0 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 5 単位時間					
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 、例えば以下 評価団体: www.o-hara.a z時間による』 総授業時数	から第三 について任 ic.jp/seni 算定) うち企業 <sup>等</sup> うち企業 <sup>等</sup> うち必修持	者評価: 意記載 mon/schood をと連携した をと連携した を実時数 うち企業等 うち企業等	ol/tokyo_ho 一実験・実習 演習の授業 手と連携した	受審年月: ttel/ ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	実習・実技(授業時数	評水		135 135 ( 135	0 単位時間 5 単位時間 6 単位時間 0 単位時間 5 単位時間 0 単位時間					
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 、例えば以下に 評価団体: www.o-hara.a 定時間による3 総授業時数	から第三について任 ic.jp/seni 算定) うち企業 <sup>等</sup> ううち企業 <sup>等</sup> (うち企業	者評価: 意記載 mon/schood をと連携した をと連携した まと連携した うち企業等 うち企業等 きと連携し	ol/tokyo_ho 実験・実習 演習の授業 を連携した まと連携した たインター	受審年月: ttel/ ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授	実習・実技( )授業時数 )受業時数)	評水		135 135 ( 135	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間					
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 、例えば以下 、例えば以下 。 www.o-hara.a と時間による 総授業時数 の を を を の の の の の の の の の の の の の	から第三について任 ic.jp/seni 算定) うち企業等 うち企業等 (うち企業 定)	者評価: 意記載 mon/schoc をと連携した をと連携した うち企業等 うち企業等 うち企業等と連携し	ol/tokyo_ho 一実験・実習 演習の授業 まと連携した たたインター 一実験・実習	受審年月: ttel/ ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授	実習・実技( )授業時数 )受業時数)	評水		135 135 ( 135	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間					
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 ・例えば以下 ・例えば以下	から第三について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 うち企業等 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について にっいて について について について について について について について にっい	者評価: 意記載 mon/schoc をと連携した をと連携した うち企業等 うち企業等 うち企業等と連携した をと連携した	ol/tokyo_ho 実験・実習 演習の授業 を連携した まと連携した たインター	受審年月: ttel/ ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授	実習・実技( )授業時数 )受業時数)	評水		135 135 ( 135	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位					
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等の実施した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 ・例えば以下 ・例えば以下	から第三について任 ic.jp/seni 算定) うち企業等 うち企業等 (うち企業 定)	者評価: 意記載 mon/schoc をと連携した を楽時数 うち企業等 うち企業等と連携した をと連携した を発と連携した	ol/tokyo_ho - 実験・実習 演習の授業 まと連携した たインター - 実験・実習の単位	受審年月: ttel/ ・実技の授業 ・実技の授業 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授	実 等 · 実技( 分授業時数) 2業時数)	D授業時数		135 135 ( 135	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位					
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 ・例えば以下 ・例えば以下	から第三について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 うち企業等 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について にっいて について について について について について について について にっい	者評価: 意記載 mon/schoc を連携した を連携した を実時数 うち企業等 うち企業等 を連携した うち企業等 を連携した うち企業等 うち企業等	ol/tokyo_ho  実験・実習  演習の授業  と連携した たインター  実験・実習の単位	受審年月: ttel/ ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授 ・実技の単位 数	実習・実技( )授業時数 ) (2業時数) (2数 (2数 (2011)	D授業時数		135 135 ( 135	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位					
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等の実施した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 、例えば以下 、例えば以下 。 www.o-hara.a な時間による 総授業時数 の数による第 総単位数	から第三について任 について任 について任 について任 について任 について任 うち企業等 でうち企業等 でうち企業等 でうち企業等 でうち企業等 でうち企業等 でうち企業等 でうち企業等	者評価: 意記載 mon/schoc を連携した を連携した を楽時数 うち企業等 うち企業等と連携した をと連携した をと連携した うち企業等 うち企業等	ol/tokyo_ho  実験・実習  演習の授業  と連携した たインター  実験・実習の単位	受審年月: ttel/ ・実技の授業 ・実技の授業 ・変技の表習の ンシップの授 ・実技の単位 数 必修の実験・ 必修の実験・	実習・実技( )授業時数 ()授業時数 ()数 ()数	D授業時数		135 135 ( 135	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位					
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 、例えば以下 、例えば以下 。 www.o-hara.a な時間による 総授業時数 の数による第 総単位数	から第三について任 について任 について任 について任 について任 について任 うち企業等 でうち企業等 でうち企業等 でうち企業等 でうち企業等 でうち企業等 でうち企業等 でうち企業等	者評価: 意記載  mon/schoc  をと連携した をと連携した を楽時数  うち企業等  うち企業等 と連携した をと連携した なる。 なるのでは、 ないできる。	ol/tokyo_ho  実験・実習  演習の授業  と連携した たインター  実験・実習の単位	受審年月: ttel/ ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授 ・実技の単位 数	実習・実技( )授業時数 ()授業時数 ()数 ()数	D授業時数		135 135 ( 135	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位					
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 、例えば以下 、例えば以下 。 www.o-hara.a な時間による 総授業時数 の数による第 総単位数	から第三について任 について任 について任 について任 について任 について任 うち企業等 でうち企業等 でうち企業等 でうち企業等 でうち企業等 でうち企業等 でうち企業等 でうち企業等	者評価: 意記載  mon/schoc  をと連携した をと連携した を楽時数  うち企業等  うち企業等 と連携した をと連携した なる。 なるのでは、 ないできる。	ol/tokyo_ho  実験・実習  演習の授業  と連携した たインター  実験・実習の単位	受審年月: ttel/ ・実技の授業 ・実技の授業 ・変技の表習の ンシップの授 ・実技の単位 数 必修の実験・ 必修の実験・	実習・実技( )授業時数 ()授業時数 ()数 ()数	D授業時数		135 135 ( 135	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位					
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 ・例えば以下 ・ 解価団体: www.o-hara.a な時間による 総授業時数 の数による第7 総数単位数	から第三について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 第章定) うち企業等等 (うち企業 等等) ううち企業等等 (うち企業等等) (うち企業等等) (うち企業等等)	者評価: 意記載  mon/schoc  をと連携した をと連携した をと連携した うち企業等 うち企業等 と連携した るなから うち企業等 と連携した ななから なるない ない な	ol/tokyo_ho  実験・実習  演習の授業  と連携した  たインター  実験・実習の単位	受審年月: ttel/ ・実技の授業 ・実技の授業 ・変技の機能の実験・ 必修の演習の ンシップの授 ・実技の単位 数 必修の実験・ 必修の実験・ の次習のプ の対	実習・実技( )授業時数 ()授業時数 ()数 ()数	D授業時数		135 135 ( 135	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位					
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 ・例えば以下 ・ 評価団体: www.o-hara.a の表は以下 が が が が 数による の表 数 を 数 による の の を の を の を の を の を の を の を の の の の の の の の の の の の の	から第三 から第三 について任 からでしいでは、 算定) うちちを企業業等等 うちちを企業業等等 うちちを企変を修り、 うちちを企業を修り、 うちちを企変を修り、 うちちを企業を修り、 でのいて任	者評価: 者意記載  mon/schoo  をと連携した  をと連携した  うち企連携した  をと連携した  うち企連携した  をと連携した  をとを  をと連携した  をとを  をと  をと  をと  をと  をと  をと  をと  をと	ol/tokyo_ho  二実験・実習  実演習の授業  をと連携した  たインター  実験・実習の単位  たインター  たきと連携した  たインター  たきと連携した  たたインター  たきと連携した  たたインター	受審年月: ttel/ ・実技の授業 ・時数 ・姿をの実験・ 必修の実験・ のがのである。 ・実技の単位 数 ・実技の単位 数 ・変をのである。 ・変をのできる。 ・変をのできるをのできる。 ・変をのでをのでをのできる。 ・変をのできるをのできる。 ・変をのできるをのできる。 ・変をのできるをのできるをのできる。 ・変をのできるをのできをのできる。 ・変をので	実習・実技( 対授業時数) 数 実習・実技( 数 単位数 単位数	の授業時数	-A~-VURL	( 138 138 ( 138 (	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位					
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等に (外別は以下) (別のでは、 ()のでは、 ()。 ()。 ()。 ()。 ()。 ()。 ()。 ()。 ()。 ()。	から 第三 ( ) から ( )	者評価: 意記載 mon/schood を連携したたと連携したたまと連携したたまと連携したたまと連携したな業等も企業携したたまと連携したたまと連携したたまと連携したたまと連携したまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	ol/tokyo_ho  -実験・実習 -演習の授業 と連携した たインター - 実験・実質の はたまと連携した たインター - 大きと連携したたインター - 大きと連携したたインター - 大きと連携したたインター - 大きとを	受審年月: ttel/ ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の演習の シシップの技 ・実技の単位  を実技の単位  を表 ・変技の単位  を表 ・変技の表 ・変技の単位  を表 ・変技の表 ・変技	実習・実技( 対授業時数) 数 実習・実技( 数 単位数 単位数	D授業時数	-A~-VURL	( 138 138 ( 138 (	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位					
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等: (例えば以下で が (例えば以下で (例えば以下で (例えば以下で (例えば以下で (例えば以下で (例えば)) (例えば)	から 第三 ( ) から ( )	者評価: 意記載 mon/schood を連携したたと連携したたまと連携したたまと連携したたまと連携したな業等も企業携したたまと連携したたまと連携したたまと連携したたまと連携したまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	ol/tokyo_ho  -実験・実習 -演習の授業 と連携した たインター - 実験・実質の はたまと連携した たインター - 大きと連携したたインター - 大きと連携したたインター - 大きと連携したたインター - 大きとを	受審年月: ttel/ ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の演習の シシップの技 ・実技の単位  を実技の単位  を表 ・変技の単位  を表 ・変技の表 ・変技の単位  を表 ・変技の表 ・変技	実習・実技( 対授業時数) 数 実習・実技( 数 単位数 単位数	の授業時数	-A~-VURL	( 138 138 ( 138 (	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位					
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等に (外別は以下) (別のでは、 ()のでは、 ()。 ()。 ()。 ()。 ()。 ()。 ()。 ()。 ()。 ()。	から第三 から第三 からいて任 からについて任 第三 では、jp/seni 第二 では、企企を修 をを を を を を を を を を を を を を	者部戦 mon/schood をと連携したたきと連携したたちと連携を企企連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したたちを企連携したたちを企産機にしたたい。 また はんしん かいます いっぱん ない ままり しょう ちん ない ない ない ない ない はんしん ない ない はんしん ない ない はんしん ない ない はんしん ない ない はん はん ない はん	ol/tokyo_ho  -実験・実習 -演習の授業 と連携した たインター - 実験・実質の はたまと連携した たインター - 大きと連携したたインター - 大きと連携したたインター - 大きと連携したたインター - 大きとを	受審年月: ttel/ ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の演習の シシップの技 ・実技の単位  を実技の単位  を表 ・変技の単位  を表 ・変技の表 ・変技の単位  を表 ・変技の表 ・変技	実習・実技(授業時数) 大教 実習・実技( 授業時数) は数 は位数 (専修学)	の授業時数	ームページURL 第1号)	( ) 138 138 ( ) 138 ( ) ( )	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位					
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況(A、記入)	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等: (例えば以下(例えば以下) 評価間による3 総授業時数	から 第三 からについて では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	者評価: お記載  mon/schoo  をと連携した  をと連携した  をと連携した  をと連携した  をと連携した  をと連携した  をと連携した  をを止連携した  をを連携した  をを連携した  をを連携した  ををした  をををした  ををした  をををした  をををををした  ををををした  をををををををした  ををををした  をををををした  をを	ol/tokyo_ho  -実験・実習 -演習の授業 と連携した たインター - 実験・実質の はたまと連携した たインター - 大きと連携したたインター - 大きと連携したたインター - 大きと連携したたインター - 大きとを	受審年月: ttel/ ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の演習の シシップの技 ・実技の単位  を実技の単位  を表 ・変技の単位  を表 ・変技の表 ・変技の単位  を表 ・変技の表 ・変技	実習・実技(授業時数) 数数 実習・実技(数) (専修学・	ア が が が が が が が が が が が が が	ームページURL 第1号) 第2号)	( ) 138 ( ) 13	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位					
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等: (例えば以下に	からいて ( ic.jp/seni	者部報 mon/school をと連携したたきと連携したたちと連携したたちと連携したたちと連携したたちと連携したたちと連携したたちと連携したたちと連携したちを企業等による金金乗程従来による者等をはなる。	ol/tokyo_ho  -実験・実習 -演習の授業 と連携した たインター - 実験・実質の はたまと連携した たインター - 大きと連携したたインター - 大きと連携したたインター - 大きと連携したたインター - 大きとを	受審年月: ttel/ ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の演習の シシップの技 ・実技の単位  ・ままずの表	実習・実技(授業時数) 授業時数) (数 (専修学) (専修学)	かける できます かっぱ できます かいま	ディージURL 第1号) 第2号) 第3号)	( ) 138 ( ) 13	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 2 人					
学校評価  当該学科の ホームページ URL  企業等をの実施状か に記入)	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等に (例えば以下) 評価では、例えば以下) 評価では、例えば以下) 評価では、のでは、は、のでは、は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	からいて ( ic.jp/seni	者部報 mon/school をと連携したたきと連携したたちと連携したたちと連携したたちと連携したたちと連携したたちと連携したたちと連携したたちと連携したちを企業等による金金乗程従来による者等をはなる。	ol/tokyo_ho  -実験・実習 -演習の授業 と連携した たインター - 実験・実質の はたまと連携した たインター - 大きと連携したたインター - 大きと連携したたインター - 大きと連携したたインター - 大きとを	受審年月: ttel/ ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の演習の シシップの技 ・実技の単位  ・ままずの表	実習・実技( 授業時数) (東修業) (東修学) (東修学) (東修学)	か授業時数 の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	( ) 138 ( ) 13	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0					
学校評価  当該学科の ホームページ URL  企業等をのました況 (Aに記入)  を製造していて記  を製造していて記	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等: (例えば以下に	からいて ( ic.jp/seni	者部報 mon/school 連携したたきと連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したちを連携したちを連携したちを連携したちを連携したちを企業等による金融を表した。	ol/tokyo_ho  -実験・実習 -演習の授業 と連携した たインター - 実験・実質の はたまと連携した たインター - 大きと連携したたインター - 大きと連携したたインター - 大きと連携したたインター - 大きとを	受審年月: ttel/ ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の演習の シシップの技 ・実技の単位  ・ままずの表	実習・実技( 授業時数) (東修業) (東修学) (東修学) (東修学)	かける できます かっぱ できます かいま	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	( ) 138 ( ) 13	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 2 人					
学校評価  当該学科の ホームページ URL  企業等の以下がある。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業のでは、で記入  を表している。  を表している。  を表している。  ないるのでは、では、  ないるのでは、  ないるのでは、 ないないるのでは、  ないるのでは、  ないるのでは、 ないるのでは、 ないるのでは、 ないないるのでは、 ないないるのでは、 ないないるのでは、 ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等に (例えば以下) 評価では、例えば以下) 評価では、例えば以下) 評価では、のでは、は、のでは、は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	からいて ( ic.jp/seni	者部報 mon/school 連携したたきと連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したちを連携したちを連携したちを連携したちを連携したちを企業等による金融を表した。	ol/tokyo_ho  -実験・実習 -演習の授業 と連携した たインター - 実験・実質の はたまと連携した たインター - 大きと連携したたインター - 大きと連携したたインター - 大きと連携したたインター - 大きとを	受審年月: ttel/ ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の演習の シシップの技 ・実技の単位  ・ままずの表	実習・実技( 授業時数) (東修業) (東修学) (東修学) (東修学)	か授業時数 の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0					
学校評価  当該学科の ホームページ URL  企業等の以下がある。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業のでは、で記入  を表している。  を表している。  を表している。  ないるのでは、では、  ないるのでは、  ないるのでは、 ないないるのでは、  ないるのでは、  ないるのでは、 ないるのでは、 ないるのでは、 ないないるのでは、 ないないるのでは、 ないないるのでは、 ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等に ・ (例えば以下) ・ (別のでは、) ・	からいて ( ic.jp/seni	者部報 mon/school 連携したたきと連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したちを連携したちを連携したちを連携したちを連携したちを企業等による金融を表した。	ol/tokyo_ho  -実験・実習 -演習の授業 と連携した たインター - 実験・実質の はたまと連携した たインター - 大きと連携したたインター - 大きと連携したたインター - 大きと連携したたインター - 大きとを	受審年月: ttel/ ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の演習の シシップの技 ・実技の単位  ・ままずの表	実習・実技( 授業時数) (東修業) (東修学) (東修学) (東修学)	か授業時数 の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 2 人 0 人					
学校評価  当該学科の ホームページ URL  企業等の以下がある。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業のでは、で記入  を表している。  を表している。  を表している。  ないるのでは、では、  ないるのでは、  ないるのでは、 ないないるのでは、  ないるのでは、  ないるのでは、 ないるのでは、 ないるのでは、 ないないるのでは、 ないないるのでは、 ないないるのでは、 ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 ・ 例えば以下 ・ 一	第三 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	者部戦 mon/school をと連携ししたたく 等とと連携ししたたく 等等とと連携したたちを乗りまると連携したたちと連携したたちと連携したたちと連携したたちと連携したたちと連携したたちと連携したたちと連携したたちと連携したたちと連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したたちと連携したたちと連携したたちによります。	ol/tokyo_ho  二実験・実習 乗 ・実理 機 した たインター ・実験・可の関係を表されている。 ・実達 はした たインター ・大きとされている。 ・大きとである ・大きとである。 ・大きとの できる できる かんしん した	受審年月: ttel/ ・・時数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実習・実技(要修学学 (専修学学 (専修学学 (専修学	か 単位数 か 単位数 か 単位数 か 単位数 か 単位数 を 設置基準第41条第1項    校設置基準第41条第1項    校設置基準第41条第1項    校設置基準第41条第1項    校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第4号) 第5号)	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 0 人 0 人					
学校評価  当該学科の ホームページ URL  企業等をのました況 (Aに記入)  を製造していて記  を製造していて記	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 ・ 例えば以下 ・ 一	第	者意記載  mon/schoo  peと連携したたきと乗りる企連携したたきと乗りる企連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したたちをはなったまちをはなった。  なるなどは、実際では、大きないでは、ためいではないでは、ためいでは、ためいでは、ためいでは、ためいでは、ためいでは、ためいでは、ためいでは、ためいでは、ためいでは、ためいでは、ためいでは、ためいでは、ためいで	ol/tokyo_ho  二実験・実習業  二実験・実習業  にたインター  実験・の関係を表現した  大をとき、大・インター  たであります。  「からいたが、のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	受審年月: ttel/ ・・時数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実習・実技(要修学学 (専修学学 (専修学学 (専修学	か授業時数 の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第4号) 第5号)	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	0 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 2 人 0 人					

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課 程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- ①各業界(ホテル・ウエディング・鉄道・トラベル)を代表する企業、これに関連する業界団体と連携して教育課程を編成することで、実践的かつ専門的知識(技術含む)を身に付け、即戦力となる人材育成をする。
- ②教育課程編成委員を通じて、業界の動向や今後の展望、最新情報を収集し、反映させる。
- ③教育課程編成委員に講義を依頼し、テキストでは教えることのできない内容を教授していただく。
- ④上記①~③により編成された授業科目、内容が実践修得されているか否か、教育課程編成員による実践的視点で評価を受け、課題を浮き彫りにし、教育の質の確保並びに更なる教育の質の向上に活用する。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①位置づけについて

教務課の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議策定するための機関として位置づける。

- ②意思決定の過程について
- (ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題等を明確にした上で、教育課程編成委員会に提言を求める。
- (イ)委員会では企業等からの意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。
- (ウ)委員会での協議内容は学園教育本部に提出し、学園全校の教育課程編成にも活用していく。
- (エ)教育課程編成委員に教育現場の責任者である校長、教務責任者が参加することで、企業等の委員から提示された課題、改善提案を速やかに次年度以降の教育課程(授業科目、内容、手法)の編成に反映させることができる。

#### (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年9月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
松井 慎吾	株式会社JTB	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	1
桑名 美保	一般社団法人日本旅行業協会	令和6年9月1日~令和8年3月 31日(1年6ヶ月)	3
平江 良成	東急株式会社	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	3
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	1
藤川 宏明	東京ホテル・トラベル・鉄道専門学校	_	_
吉倉 徹	東京ホテル・トラベル・鉄道専門学校	_	_
山田 修嗣	東京ホテル・トラベル・鉄道専門学校	_	_
甲斐 一騎	東京ホテル・トラベル・鉄道専門学校	_	_
上坂 直輝	東京ホテル・トラベル・鉄道専門学校	_	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年8月2日 14:30~16:15

第2回 令和7年3月18日 16:00~17:00

第1回 令和7年8月4日 16:00~17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

# ①インバウンド、オーバーツーリズムへの対応

急回復するインバウンド需要に観光地の人手(労働力)が不足している。人手を雇ったとしても英語が話せず対応できないケースもある。業界としては英語力はもちろん、多言語の強化も必須とのこと。語学を苦手とする学生も多いことから、基礎からの学び直しができるカリキュラムを一部導入した。

# ②正解の無い世の中で考えて行動できる人材を育成

コロナの影響を受けてリモートワークが増えたことにより定期券収入が激減した。鉄道事業が安定せず、正解の無い世の中で、自ら考えて行動することが大切とのこと。まずは、自分の意見を積極的に発言できるよう普段の学生生活の中から常時発言する機会を増やすべく、グループワークやディスカッション、ディベートを織り交ぜながら全員が発言できる機会を設けている。

## ③企画力を高める教育について

鉄道事業だけではビジネスが成り立ちにくいことから、いかに「鉄道に乗ってもらうか。そのためにどうするか」という視点が必要であり、柔軟な発想力のアップという点では自身が経験・体験することが大事とのこと。そのため、カリキュラムにおいて外部に出る機会を増やし、企業とのタイアップを少しずつ増やしている。

# 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
- ①より実務に即した内容を身に付けるため、企業等との連携の下、学内で行なわれる学習科目だけでなく、学外での実習 科目が多く導入し、実習・演習の組立を行なう。
- ②企業等との連携による実習・演習を通じて、学生のより実践的な知識・思考・技術の修得と、学生と社会人の違いを理解する場を実現する。
- ③企業等から実習・演習の授業内容、手法に関して具体的な助言を仰ぎ、学生の知識・技術の修得状況に対して実践で活かせるレベルか否かを企業等の実務の視点から評価をいただく。

# (2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

言語知識の授業運営に関して、企業と業務委託契約書、協定書、覚書を締結、打合せを行い、下記の4点について講義内容の質向上のための連携している。

- ①実習授業内容のブラッシュアップへのサポート
- ②当該実習授業における評価ポイントの確認
- ③授業方法に関する教員への指導
- ④学生の学修習熟度状況の評価

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。											
科 目 名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等								
言語知識(英会話) I	1. 【校内】企業等からの講 師が全ての授業を主担当	ネイティブスピーカーとの英会話レッスン で全員が発話しつつ授業を進めていく	株式会社NOVA								
言語知識(英会話) II	1.【校内】企業等からの講 師が全ての授業を主担当	ネイティブスピーカーとの英会話レッスン で全員が発話しつつ授業を進めていく	株式会社NOVA								
サービス介助士 I	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	サービス介助士について学ぶ	公益財団法人日本ケアフィット共育機構								
サービス介助士 II	1.【校内】企業等からの講 師が全ての授業を主担当	サービス介助士について実地で学ぶ	公益財団法人日本ケアフィット共育機構								
言語知識(英会話)Ⅲ	1.【校内】企業等からの講 師が全ての授業を主担当	ネイティブスピーカーとの英会話レッスン で全員が発話しつつ授業を進めていく	株式会社NOVA								
総合旅行(実務)	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	総合旅行業務取扱管理者試験の運賃、 地理に関して学ぶ	トラベル & コンダクターカレッジ								
言語知識(中国語) I	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	中国人ネイティブ講師による講義	株式会社NOVA								
ツアープランニング応 用	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	ツアープランニングの応用を学び、ツ アーを企画する	(株)JTB								
国内ツアープランニン グ	1.【校内】企業等からの講 師が全ての授業を主担当	ツアープランニングの応用を学び、ツ アーを企画する	(株)JTB								
JR時刻表	1.【校内】企業等からの講 師が全ての授業を主担当	どのページに何があるか即座に対応で きるレベルを目指す	JR東日本 等								

# 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

# (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

## (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけなければならない。そのために下記のとおり教員研修の環境を整える。なお、これらは、「大原学園教職員研修規程」の目的に定めており、教職員が専攻分野に関する知識・技能・企画力・判断力を高めるため環境を整備し、所属長の指示または本人の意思により公平に研修などを受講する機会を与えるものとし、計画的、組織的、継続的に取り組んでいくこととする。校内、校外において企画する研修は下記の通り。

- ①教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・指導スキル研修
- ②ホテル、ウェディング業界の実務家講師を招いた研修会の実施及び、外部研修会への参加
- ③学内に設置される附帯教育講座を利用しての自己啓発
- 4 各自治体等が実施する指導者向けセミナーへの参加

## (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 鉄道業界全般、求める人物像・企業の取り組み 連携企業等:近畿日本鉄道株式会社

期間: 令和7年6月24日 対象: 学科に所属する教員

内容 鉄道・交通業界の業界研究

研修名: 鉄道業界、企業の取り組み・求める人物像 連携企業等: 東急テクノシステム株式会社

期間: 令和7年7月8日 対象: 学科に所属する教員

内容 鉄道・交通業界の業界研究

研修名: 鉄道の働き方 ~JR東日本の仕事と働き方~ 連携企業等:東日本旅客鉄道株式会社

期間: 令和7年7月15日 対象: 学科に所属する教員

内容 鉄道・交通業界の業界研究

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 人権教育研修~アンガーマネジメント~ 連携企業等: -般社団法人 日本アンガーマネジメント協会

期間: 令和7年2月18日 対象: 学科に所属する教員

内容・アンガーマネジメントを通じてコントロールする方法を学ぶ・適切な叱り方や傷つけない言葉のかけ方を身につける

研修名: カウンセリング研修会 連携企業等: NPO 日本教育カウンセラー協会

期間: 令和7年8月4日 対象: 学科の教職員から代表1名

内容 教員が使えるカウンセリング技術

研修名: 就職等進路に関するセミナー 連携企業等:株式会社Kaien

期間: 令和7年8月28日 対象: 学科の教職員から代表1名

内容・多様化する学生の就職活動について・発達障害/グレーゾーン学生の就職活動

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 鉄道業界全般、求める人物像・企業の取り組み 連携企業等: 阪急電車株式会社

対象: 学科に所属する教員

対象: 学科に所属する教員

期間: 令和7年10月21日

内容 鉄道・交通業界の業界研究

研修名: 安全・安心を支える鉄道の仕事 連携企業等: 東急電鉄株式会社

期間: 令和7年10月28日

内容 鉄道・交通業界の業界研究

研修名: 鉄道業界、企業の取り組み・求める人物像 連携企業等: 京王電鉄株式会社(仮)

期間: 令和7年11月4日(仮) 対象: 学科に所属する教員

内容 鉄道・交通業界の業界研究

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 学校におけるハラスメントの防止と対応方法 連携企業等: 公益社団法人 21世紀職業財団

期間: 令和7年10月2日 対象: 学科に所属する教員

内容・教育現場においてのハラスメント・人権教育・多様化するハラスメントへの対応

研修名: 食物アレルギーの基礎知識と緊急時対応について 連携企業等: 昭和医科大学医学部小児科学講座

期間: 令和7年10月17日 対象: 学科に所属する教員

内容 教職員の方々にアレルギーに関する正しい知識や最新情報、緊急時対応について

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

## (1)学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	①理念・目的・育成人物像は定められているか。
(2)学校運営	①運営方針は定められているか。
(3)教育活動	①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人
(4)学修成果	①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図ら
(5)学生支援	①就職に対する体制は整備されているか。
(6)教育環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されて
(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行なわれているか。
(8)財務	①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。
(9)法令等の遵守	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行なっているか。
(11)国際交流	_

- ※(10)及び(11)については任意記載。
- (3)学校関係者評価結果の活用状況
- ■退学者防止について

退学者の防止と共に離職防止も視野に入れて学生のメンタルヘルスについての対応方法、対応力を常に研究、検討して学生が満足できる学習環境を整備中。また、先々を考え常により良い教育環境、学校運営ができるようにPDCAを繰り返しブラッシュアップを図っていく。

■学生と教員とのコミュニケーションについて

若手新入社員を対象に実際の職場でも月に1度面談を設けて、現状を管理者が把握できる体制を整えているとのアドバイスより、学校内においても担任以外に何でも相談できる職員を各学年1名配置して、定期的な面談を実施している。横断的な対応ができる体制を敷くことで、学生の悩みを早期に解決できるように取り組んでいる。

## (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
浅山 恵一	一般財団法人日本ホテル教育センター	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	1
山岡 広記	日本ホテル株式会社	令和6年9月1日~令和6年3月 31日(1年6ヶ月)	3
工藤 綾乃	株式会社八芳園	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	3
佐々木 貴夫	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	1
松井 慎吾	株式会社JTB	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	3
桑名 美保	一般社団法人日本旅行業協会	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	1
平江 良成	東急株式会社	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	3
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	1
藤川 宏明	東京ホテル・トラベル・鉄道専門学校	_	_
吉倉 徹	東京ホテル・トラベル・鉄道専門学校	_	_
山田 修嗣	東京ホテル・トラベル・鉄道専門学校	_	_
甲斐 一騎	東京ホテル・トラベル・鉄道専門学校	_	_
上坂 直輝	東京ホテル・トラベル・鉄道専門学校	_	_

))

- ※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
- (例)企業等委員、PTA、卒業生等
- (5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: 令和7年10月4日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ①実践教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に役立つ情報提供を行うこと。そのために、学校関係者評価結果も含め、教育活動の状況や課題など学校全体に関する情報を分かりやすく示すこと。
- ②また、上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼につなげていくこと。
- ③情報の公表を通じて、学校の教育の質確保と向上を図ることを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

<u> </u>
学校が設定する項目
①学校の概要 ②目標・方針・特色 ③所在地、連絡先④学校の沿革
①カリキュラム、時間割、目指す資格②検定、資格取得・検定試験合格実績
各学科の担当教員紹介
各学科の実習紹介
①学校行事 ②クラブ活動
学習や学校生活に対する不安解消(先輩の声)
①学生納付金 ②奨学金、学費減免等の紹介
学園の財務状況公開
学校関係者評価結果
留学生の募集
_

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:

(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他()

https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: 令和7年10月4日

## 授業科目等の概要

		選択必	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携
1	0			一般教養 I	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ	1 後	30	_		0		0		0		
2	0			キャリアデザイン I	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎 を学ぶ	1後	30	-		0		0		0		
3			0	Word基礎	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する	1 後	30	-		0		0		0		
4			0	Word応用	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する	1後	30	-		0		0		0		
5			0	言語知識(英会話) I	ネイティブスピーカーとの英会話レッスンで 全員が発話しつつ授業を進めていく	1 前	45	-	Δ	0		0			0	0
6			0	言語知識(英会話) II	ネイティブスピーカーとの英会話レッスンで 全員が発話しつつ授業を進めていく	1 前	60	-	Δ	0		0			0	0
7			0	国内旅行基礎(業法) I	国内旅行業務取扱管理者試験の旅行業法につ いて学ぶ	1 前	30	-	0			0		0		
8			0	国内旅行基礎(約款) I	国内旅行業務取扱管理者試験の旅行業約款に ついて学ぶ	1 前	30	-	0			0		0		
9			0	国内旅行基礎(運賃) I	国内旅行業務取扱管理者試験の国内運賃・料 金計算について学ぶ	1 前	60	-	0			0		0		
10			0	国内旅行基礎(地理) I	国内旅行業務取扱管理者試験の国内地理につ いて学ぶ	1 前	30	-	0			0		0		
11			0	国内旅行応用 I	国内旅行業務取扱管理者試験の問題演習	1 前	90	-		0		0		0		
12			0	サービス介助士 I	サービス介助士について学ぶ	1 後	45	-	0	Δ		0			0	0
13			0	サービス介助士Ⅱ	サービス介助士について実地で学ぶ	1 後	15	-	0			0			0	0
14			0	鉄道概要	鉄道業界についての事例および講義をメイン に実施	1 後	30	-		0		0		0		
15			0	駅実務	駅係員の基本動作、実務を実施する	1 後	30	-		0		0		0		
16			0	運転関係取扱(運転士・車 掌)	運転士、車掌の業務を理解する	1 後	30	-		0		0		0		
17			0	安全設備	テキスト・配布プリント資料を用いながら安 全及び安全作業について学ぶ	1 後	30	-		0		0		0		
18			0	鉄道接遇	接客の基本動作と鉄道業における基本知識を 講義、体験による学習を中心に学習してい く。	1 後	30	-		0		0		0		
19			0	鉄道車両	テキストを基に制御装置・制動装置について 理解する。車両の写真等を用いて鉄道車両の 仕組みをを知る	1 後	30	-		0		0		0		
20			0	運転関係(安全と規定)	鉄道連行において必要な安全について学んで いく	1 後	30	-		0		0		0		
21			0	路線地理	国内の主要な観光資源(観光地名、温泉、国 立公園、郷土料理、祭り、特産品、旧国名、 JR線名、知っておきたい名数など)を確実 に覚えていく。	1 後	30	-		0		0		0		
22			0	ツアープランニング I	ツアープランニングの方法を学ぶ	1 後	60	-		0		0		0		
23			0	鉄道業界研究	鉄道業界についての研究	1 後	30	-	0	Δ		0		0	ш	
24			0	マナー・プロトコール2級	マナー・プロトコールの知識を学ぶ	1 前	60	-	0	Δ		0		0	ш	
25			0	マナー・プロトコール3級	マナー・プロトコールの知識を学ぶ	1 前	60	-	0	Δ		0		0		
26			0	観光英語 I	基本的な観光英語を学ぶ	1 前	60	-	0			0			0	
27			0	観光英語Ⅱ	観光英語の知識を学び、観光英語検定に備え る	1 後	60	-		0		0			0	

											_		
28		0	観光英語Ⅲ	観光英語の知識を学ぶ	1 前	60	ı	0		0		0	
29		0	観光英語Ⅳ	観光英語の知識を学び、観光英語検定に備え る	1後	60	-	0		0		0	
30		0	Excel基礎	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法 を習得する	2 前	60	-		0	0	0		
31		0	Excel応用	MOS Excel試験に合格するために必要な操作に 関する総合的な知識を身につけるための演習	2 前	30	-		0	0	0		
32		0	言語知識(英会話) II	ネイティブスピーカーとの英会話レッスンで 全員が発話しつつ授業を進めていく。	2 前	45	-		0	0		0	0
33	0		一般教養Ⅱ	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ	2 前	30	-		0	0	0		
34	0		キャリアデザインⅡ	面接試験に向けての準備作業や集団・個人で の実践練習を行う	2 前	30	-		0	0	0		
35	0		キャリアデザインⅢ	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身 につける為の学習	2 前	30	-		0	0	0		
36		0	伝統文化I	日本の伝統文化である華道・茶道を学ぶ	2 前	15	-	0		0		0	
37		0	伝統文化Ⅱ	書道の基本を学ぶ	2 前	15	-	0		0		0	
38		0	国内旅行基礎(業法)Ⅱ	国内旅行業務取扱管理者試験の旅行業法について学ぶ	2 前	15	-	0		0	0		
39		0	国内旅行基礎(運賃) Ⅱ	国内旅行業務取扱管理者試験の国内運賃・料 金計算について学ぶ	2 前	15	-	0		0	0		
40		0	国内旅行基礎(地理)Ⅱ	国内旅行業務取扱管理者試験の国内運賃・料 金計算について学ぶ	2 前	15	-	0		0	0		
41		0	国内旅行応用Ⅱ	国内旅行業務取扱管理者試験の問題演習	2 前	60	-		0	0	0		
42		0	総合旅行基礎 (出入国法令)	総合旅行業務取扱管理者試験の出入国法令に 関して学ぶ	2 前	15	-	0		0	0		
43		0	総合旅行(実務)	総合旅行業務取扱管理者試験の海外実務に関 して学ぶ	2 前	15	-	0		0	0	0	0
44		0	総合旅行基礎 (運賃、地 理)	総合旅行業務取扱管理者試験の運賃、地理に 関して学ぶ	2 前	15	-	0		0	0		
45		0	総合旅行応用	総合旅行業務取扱管理者試験の問題演習	2 前	60	-		0	0	0		
46		0	ツアープランニングⅢ	ツアープランニングの基本を学び、ツアーを 企画する	2 前	60	-	0	Δ	0	0		
47		0	言語知識(英会話)IV	ネイティブスピーカーとの英会話レッスンで 全員が発話しつつ授業を進めていく	2後	60	ı	0	۵	0		0	0
48		0	言語知識(中国語) I	中国人ネイティブ講師による講義	2 後	60	ı		0	0		0	0
49		0	言語知識(日本語) I	日本語の正しい使い方を学ぶ	2後	60	- 1		0	0	0		
50		0	マーケティング概論	マーケティングの必要性と目的を学習する	2 後	30	-	0		0	0		
51		0	ビジネスマナー	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する	2 後	60	-		0	0	0		
52		0	鉄道マーケティング応用	マーケティング概論で学んだ内容で鉄道観光 業界をマーケティングを学ぶ	2 後	30	-	0		0	0		
53		0	鉄道ビジネスマナー	旅行会社のカウンターにおける知識、ビジネスマナーを学ぶ	2 後	60	-		0	0	0		
54		0	プレゼンテーション概論	企画から発表までの一連の流れ	2 後	30	-		0	0	0		
55		0	時事研究	現代社会における主要な時事の基本用語を理 解し、自分の考えや意見を持つための学習	2 後	30	-	0		0	0		
56		0	パソコン実習 I	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を 身につける実習	2 後	30	-		0	0	0		
57		0	ツアープランニング応用	ツアープランニングの応用を学び、ツアーを 企画する	2 後	90	-	0	Δ	0	0	0	0

58		0	国内ツアープランニング	ツアーブランニングの応用を学び、ツアーを 企画する	2 後	60	-	0	Δ		0		0	0	0
59		0	JR時刻表	どのベージに何があるか即座に対応できるレベルを目指す	2 後	30	ı	0			0		0		0
			合計	00	科	· B				00	単	立 (	単位	時間	i])

	卒業要件及び履修方法	授業期間等	ŧ
卒業要件:	(修 7 - 卒業の認定) 授業科目の成績評価に基づいて、卒業審査により課程修了の認定を行う。校長は、 本所定の課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。 (1) ホテル観光学科 1.70時間 (進級の設定は、各学科の各学年において定める授業時間の履修および単位の修 得を行い、かつ、出席状況等学習姿勢も考慮の上、進級判定委員会にて審査を行 う。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法:	(授業) 1. 授業は、講義・演習・実習・実技のいずれか又はこれらの併用により行うものとする。 (試験等) 1. 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。 2. 本校において必要と認めた場合に限り、追試験または再試験を行うことがある。追試験は基故等やむ得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。 (学業成績) 1. 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とする。	1 学期の授業期間	20 週

- (留意事項)
  1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法についてOを付し、その他の方法について△を付すこと。
  2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目についてOを付すこと。